

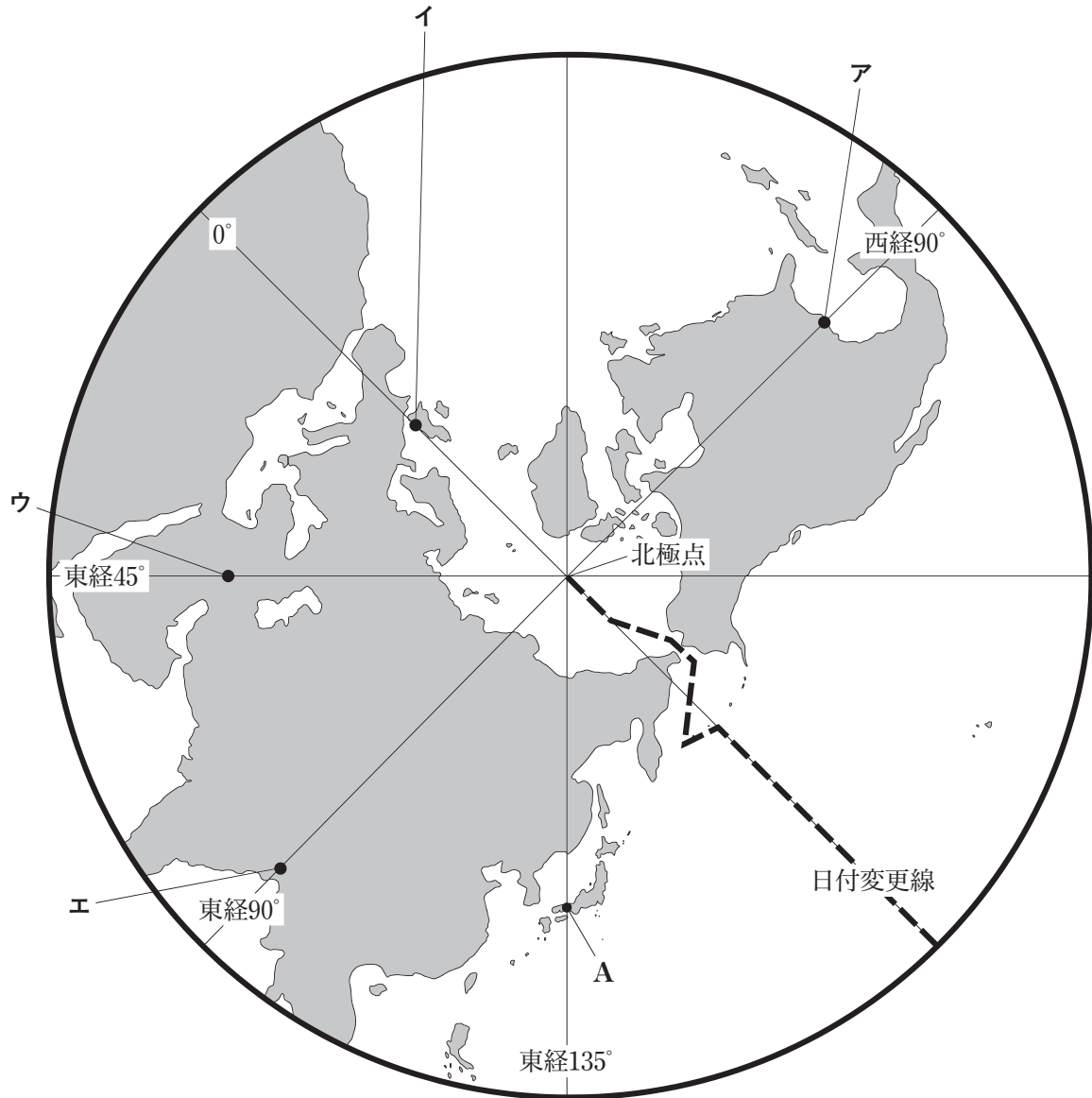
## 社 会

## 注 意

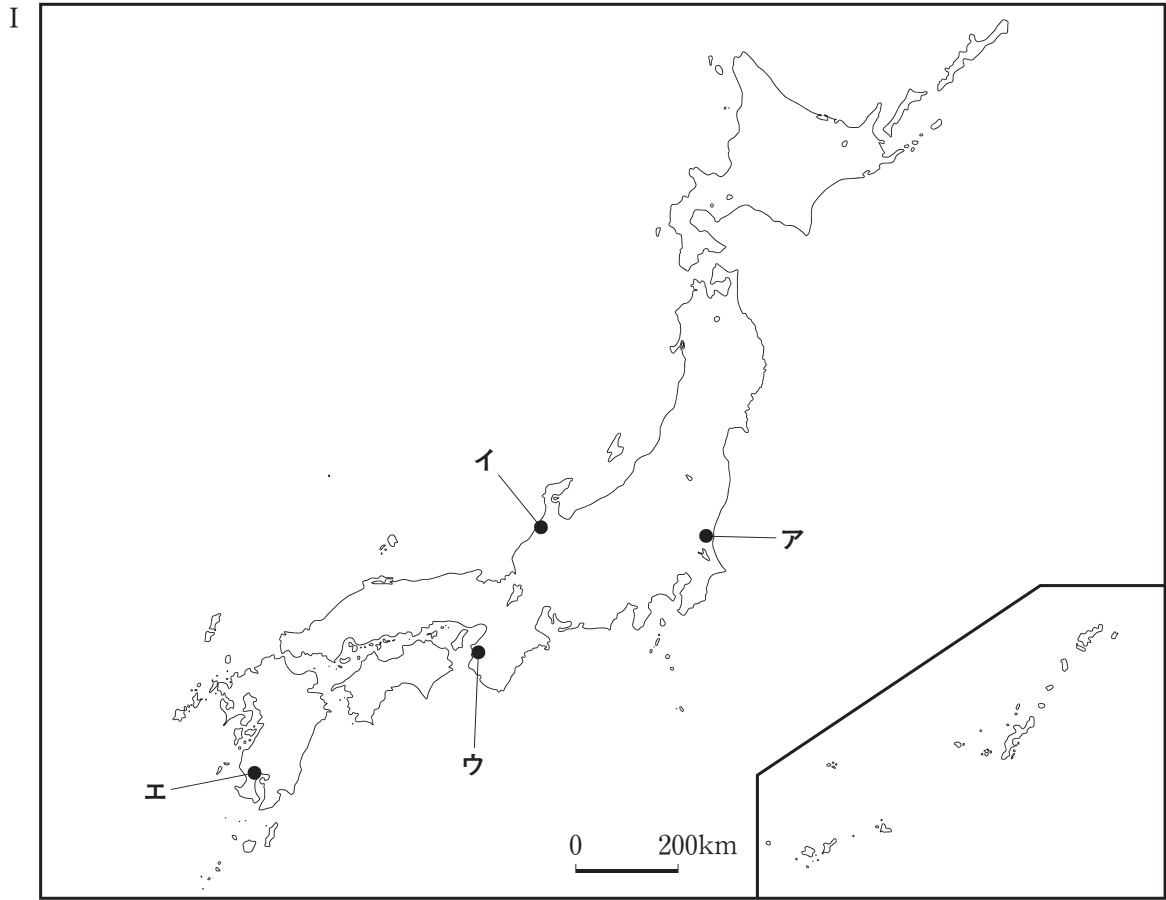
- 1 問題は **1** から **6** までで、12 ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は 50 分で、終わりは午後 2 時 00 分です。
- 3 声を出して読んではいけません。
- 4 答えは全て解答用紙に HB 又は B の鉛筆（シャープペンシルも可）を使って明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 答えは特別の指示のあるもののほかは、各問の ア・イ・ウ・エ のうちから、最も適切なものをそれぞれ一つずつ選んで、その記号の ○ の中を正確に塗りつぶしなさい。
- 6 答えを記述する問題については、解答用紙の決められた欄からはみ出さないように書きなさい。
- 7 答えを直すときは、きれいに消してから、消しくずを残さないようにして、新しい答えを書きなさい。
- 8 受検番号を解答用紙の決められた欄に書き、その数字の ○ の中を正確に塗りつぶしなさい。
- 9 解答用紙は、汚したり、折り曲げたりしてはいけません。

1 次の各問に答えよ。

〔問1〕 次の略地図中に示した地点Aが2月1日午前7時のとき、1月31日午後10時である地点は、略地図中のア～エのうちではどれか。



〔問2〕 次のⅠの略地図中のア～エは、江戸時代の城下町の位置を示したものである。Ⅱの文章は、江戸時代のある藩について述べたものである。Ⅱの文章で述べている藩の城下町に当てはまるのは、略地図中のア～エのうちのどれか。

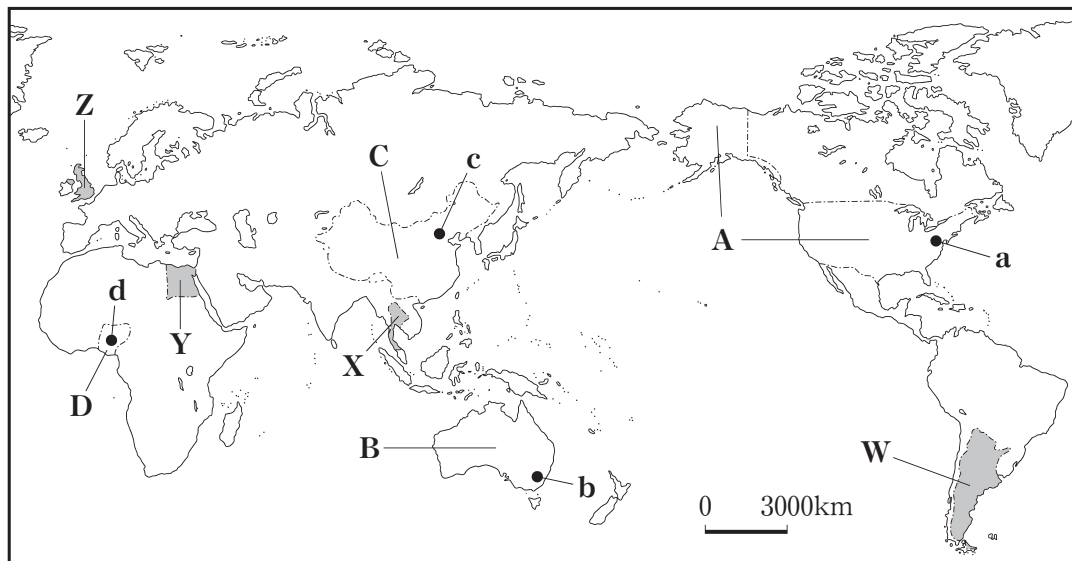


Ⅱ この藩は、徳川家の一族として幕府を支えていたが、19世紀には、尊王攘夷の思想の下で国家の再建を唱える者が現れ、その後、桜田門外の変に関与する者もいた。2代藩主である徳川光圀は、「大日本史」の編さんに当たるなど文化政策に力を注ぎ、学問の振興に大きな役割を果たした。

〔問3〕 次の文章で述べている制度を何というか、漢字3字で書け。

裁判において、第一審の判決に不服がある場合、上級の裁判所に控訴し、さらにその結果に不服がある場合には、より上級の裁判所に上告することができる制度である。同一の事件について、2度まで、判決についての不服を申し立てることができるように定められているのは、裁判を慎重に行い、国民の人権を守るためである。

2 次の略地図を見て、あとの各問に答えよ。

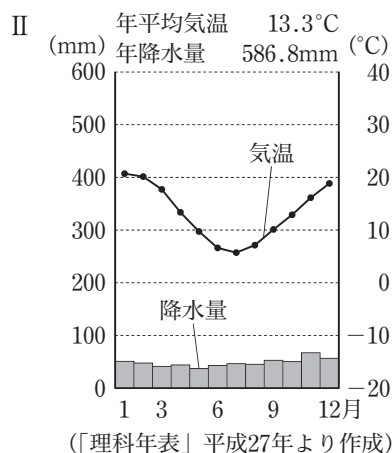


〔問1〕 次のIの表の**ア～エ**は、略地図中に**A～D**で示した**いずれかの国**の、2012年における穀物生産量、穀物生産量のうち小麦生産量、米生産量及びとうもろこし生産量を示したものである。略地図中に**a～d**で示した都市は、**A～D**のそれぞれの首都である。IIのグラフは、**a～d**の**いずれかの都市**の、年平均気温と年降水量及び各月の平均気温と降水量を示したものである。IIのグラフが示す都市がある国に当てはまるのは、Iの表の**ア～エ**のうちのどれか。

I

	穀物生産量 (万 t)			
	小麦 生産量 (万 t)	米 生産量 (万 t)	とうもろこし 生産量 (万 t)	
<b>ア</b>	54083	12058	20429	20813
<b>イ</b>	2633	10	483	941
<b>ウ</b>	35696	6176	905	27383
<b>エ</b>	4337	2991	92	45

(「世界国勢図会」2014/15年版より作成)



〔問2〕 次の表の**ア～エ**は、略地図中に で示した**W～Z**の**いずれかの国**の、2012年における人口、国民総所得、牛、豚及び羊の家畜頭数、漁獲量、日系現地法人数を示したものである。略地図中の**W**に当てはまるのは、表の**ア～エ**のうちのどれか。

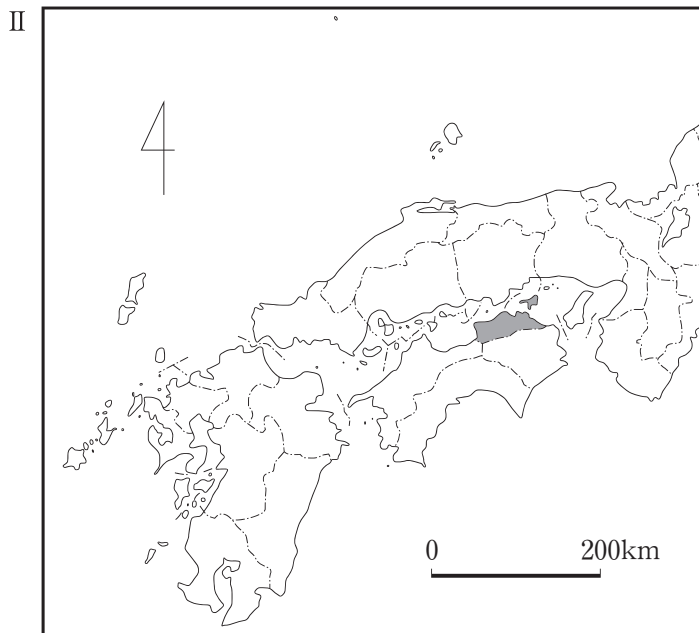
	人口 (万人)	国民総所得 (億ドル)	家畜頭数 (万頭)			漁獲量 (万 t)	日系現地 法人数
			牛	豚	羊		
<b>ア</b>	8396	2403	480	1	545	35	13
<b>イ</b>	4112	4669	4750	240	1630	74	47
<b>ウ</b>	6280	24488	990	448	3222	63	847
<b>エ</b>	6989	3478	539	750	5	183	1853

(注) 国民総所得とは、一つの国において新たに生み出された価値の総額を示した数値のことである。  
(「世界国勢図会」2014/15年版などより作成)

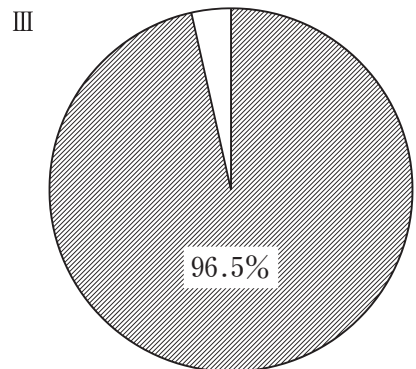
〔問3〕 次のⅠの略地図は、2012年における、ある農産物の生産量の世界の上位3か国を点線で示したものである。Ⅱの略地図は、その農産物について、2012年における我が国の生産量の1位の県を黒色で示したものである。Ⅲのグラフは、その農産物の我が国の生産量に占める、Ⅱで示した県の生産量の割合を示したものである。この農産物は、下のア～エのうちのどれか。



(「世界国勢図会」2014/15年版などより作成)



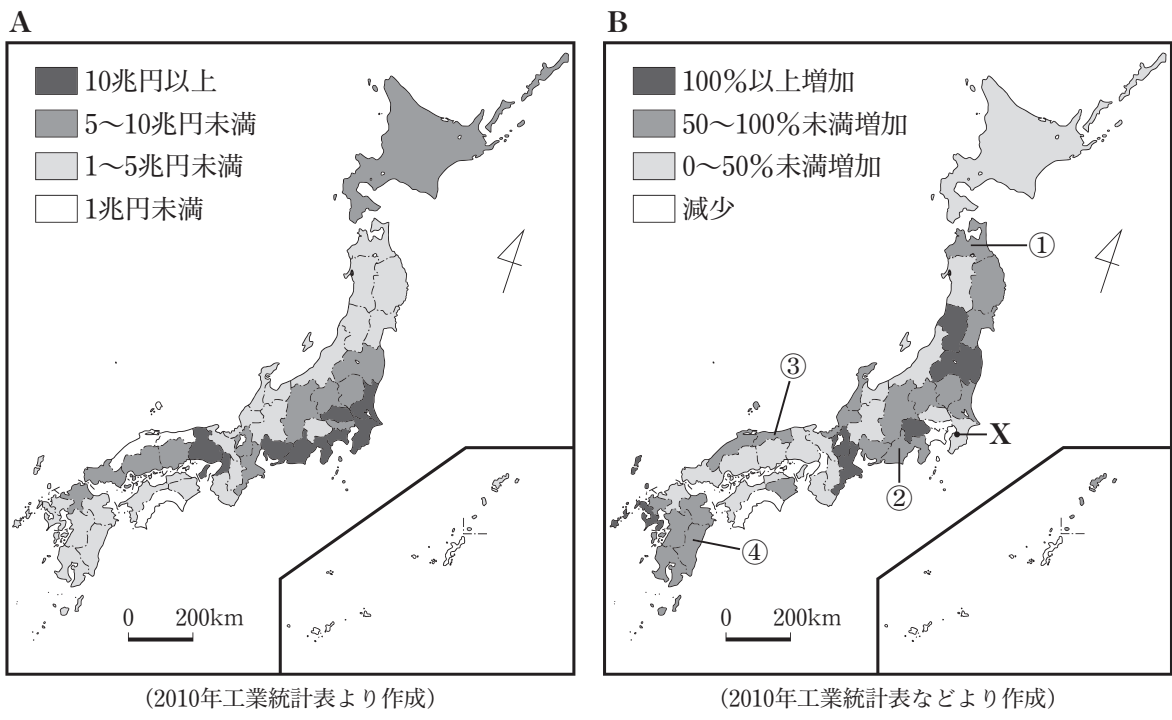
(「平成24年産特産果樹生産動態等調査」より作成)



(「平成24年産特産果樹生産動態等調査」より作成)

- ア コーヒー      イ バナナ      ウ オリーブ      エ ぶどう

3 次のAの略地図は、日本の各都道府県の2010年における製造品出荷額の状況を表したものである。Bの略地図は、日本の各都道府県における1980年と2010年を比較した製造品出荷額の増減の状況を表したものである。A及びBの略地図を見て、あとの各問に答えよ。



【問1】 次の文章で述べている県に当てはまるのは、下のア～エのうちのどれか。

この県の県庁所在地は、政府の出先機関や大企業の支社、支店が多く集まっており、この地方における政治や経済の中心都市となっている。この県の2010年における製造品出荷額は約8兆2000億円で、この県が属する地方で最も多くなっている。

この県の臨海部では、第二次世界大戦前から鉄鋼業、化学工業など素材の生産を中心とする重化学工業が盛んであったが、石油危機以降、内陸部や県の東部に自動車工場が進出し、1980年から2010年までの30年間に、製造品出荷額は41.4%増加している。

- ア 愛知県    イ 福岡県    ウ 神奈川県    エ 広島県

【問2】 次のIの表のア～エは、Bの略地図中に①～④で示したいずれかの県の県庁所在地の年平均気温及び年降水量、2013年における農業産出額と農業産出額に占める米、野菜、果実、畜産の割合及び農業産出額の上位5位の農産物を示したものである。次のページのIIの文章で述べている県に当てはまるのは、Iの表のア～エのうちのどれか。

I	年平均気温 (°C)	年降水量 (mm)	農業産出額 (億円)	農業産出額に占める割合				農業産出額の上位5位の農産物 (左から1位, 2位, 3位, 4位, 5位)
				米 (%)	野菜 (%)	果実 (%)	畜産 (%)	
ア	16.5	2324.9	2138	9.4	27.7	13.4	21.1	茶, みかん, 米, 鶏卵, 荒茶
イ	14.9	1914.0	679	22.7	28.0	10.0	34.0	米, プロイラー, 生乳, 日本なし, 豚
ウ	10.4	1300.1	2835	17.9	22.0	27.2	28.7	りんご, 米, 豚, プロイラー, 鶏卵
エ	17.4	2508.5	3213	6.3	23.4	4.5	57.6	プロイラー, 肉用牛, 豚, 米, きゅうり

(農林水産省「平成25年生産農業所得統計」などより作成)



II

この県の西部及び中部地域には、北から南に向かって流れる複数の河川があり、海岸沿いに平野が発達している。平野と平野の間の台地では、温暖で水はけのよい土地での栽培に適した作物や果実の栽培が盛んであり、国内における有数の産地となっている。米、野菜、果実、畜産に分類されない農産物の農業産出額は、約600億円である。

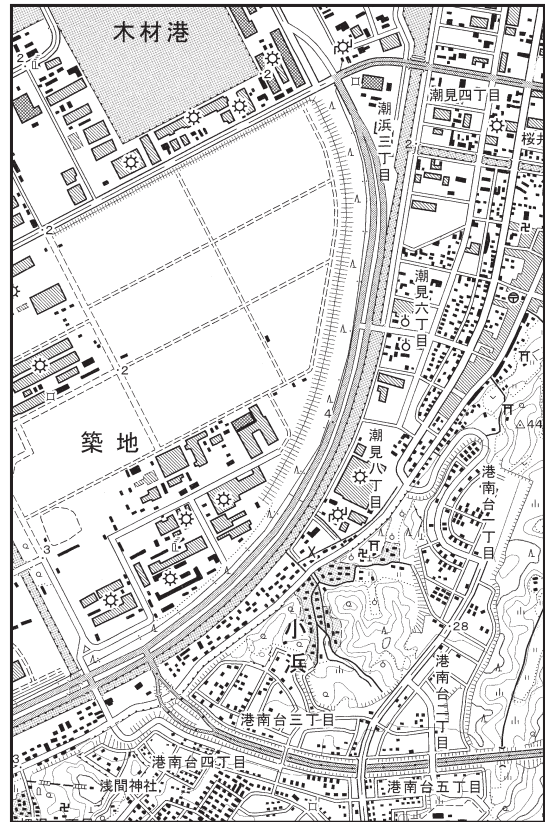
〔問3〕 Bの略地図中のXは千葉県木更津市<sup>きさらづ</sup>を示しており、1967年から2007年にかけて、製造品出荷額が40億円から2366億円に増加した都市である。次のIとIIの地形図は、1967年と2007年の「国土地理院発行2万5千分の1地形図（木更津）」の一部である。IとIIの地形図を比較して読み取ることができる地域の変容について述べているのは、下のア～エのうちではどれか。

I



(1967年)

II



(2007年)

(注) □ □ □ □ : 水田      △ △ △ △ : 針葉樹林

- ア <sup>さくらい</sup>桜井と<sup>こばま</sup>小浜を結ぶ道路の南の地域は、主に針葉樹林や水田であったが、開発が進み、複数の工場や発電所が建設された。
- イ 集落が広がっていた桜井や小浜の沿岸は、遠浅の海であったが、埋め立てが進み、工場を取り巻くように桑畑や果樹園になった。
- ウ 桜井と小浜を結ぶ道路の南の地域は、主に針葉樹林や水田であったが、開発が進み、県や市の官庁が置かれた。
- エ 集落が広がっていた桜井や小浜の沿岸は、遠浅の海であったが、埋め立てが進み、複数の工場や発電所が建設された。

4 次の文章を読み、あとの各問に答えよ。

交通は時代とともに発達し、政治、経済や文化などをはじめ、人々の生活に影響を与えてきた。奈良時代には、都と地方を結ぶ道路が整備され、税の運搬などに利用された。また、大陸との交流が活発になり、様々な技術や文化がもたらされた。<sup>(1)</sup>

鎌倉時代になると、鎌倉に通じる幹線道路などが整備され、交通の要衝では定期市が開かれるようになり、商品の売買が行われた。<sup>(2)</sup>室町時代には、物資の輸送を担う運送業者や倉庫業者の活動が盛んになった。<sup>(3)</sup>

江戸時代には、参勤交代の制度がつけられ、街道や宿場などが整えられるなか、伊勢参りや四国巡礼など、寺社に参詣する人々が増えた。

明治時代以降、近代化を図るなかで、新しい交通機関の導入や道路の整備などが進み、人々の生活や産業は大きく変化した。<sup>(4)</sup>

〔問1〕 大陸との交流が活発になり、様々な技術や文化がもたらされた。とあるが、奈良時代の文化について述べているのは、次のア～エのうちではどれか。

- ア 稲作とともに青銅器や鉄器が伝わり、青銅器は銅鐸や銅剣などの祭りの道具として、鉄器は武器や実用的な農具として用いられた。
- イ 宋に渡り仏教を学んだ道元は、ひたすら座禅に打ち込むことが重要であると主張し、越前（福井県）に建立した永平寺を本拠に厳しい修行を行った。
- ウ シルクロードを經由して我が国に伝来した美術工芸品は、聖武天皇の遺品とともに光明皇后により東大寺正倉院に納められた。
- エ 明が倭寇の取り締まりを求めてきたのを契機に、足利義満は勘合を用いた貿易を開始し、銅銭、生糸、水墨画などを輸入した。

〔問2〕 鎌倉に通じる幹線道路などが整備され、とあるが、次のIの略年表は、鎌倉時代から江戸時代にかけての、陸上交通に関する主な出来事をまとめたものである。IIの文章は、ある時期に活動していた人物について述べたものである。IIの文章で述べられている人物が活動していた時期に当てはまるのは、Iの略年表中のア～エの時期のうちではどれか。

I	西暦	陸上交通に関する主な出来事
	1185	●源頼朝が東海道の駅制を整備し、乗り継ぎ用の馬を準備させた。
	1333	●足利尊氏が街道の路地や宿等における無法な行為や乱暴を禁じた。
	1595	●豊臣秀吉が身分に応じた乗り物（高級な駕籠）の使用を定めた。
	1716	●新井白石の意見によって、五街道の名称が定められた。
	1857	●ハリスが米国総領事館から江戸に向かうため、幕府は街道を整備し、外交交渉に備えた。

II  
 伊能忠敬は、幕府の許可の下、全国各地を巡り、海岸線などを測量した。この成果は、日本最初の実測図として知られる「大日本沿海輿地全図」にまとめられた。



〔問3〕 室町時代には、物資の輸送を担う<sup>にな</sup>運送業者や倉庫業者の活動が盛んになった。とあるが、  
 (3) 次のⅠの略地図は、室町時代の琵琶湖周辺の主な水上路、主な港、馬借の主な所在地、主な街道、  
 その他の陸路を示したものである。Ⅱの表は、京都に運ばれた主な物資とその生産地を示した  
 ものである。Ⅲの文章は、馬借の主な所在地のうち、<sup>おおつ</sup>大津と<sup>さかもと</sup>坂本の様子をまとめたものである。  
 Ⅰ～Ⅲの資料を活用して、大津と坂本で活動した馬借の役割について、簡単に述べよ。

Ⅰ

Ⅱ

京都に運ばれた主な物資とその生産地	
米	越前(福井県)・能登(石川県)
塩	若狭・越前(福井県)
塩干魚	越前(福井県)

(「福井県史」などより作成)

Ⅲ

○琵琶湖の水運を利用した交通が発達していた。
○京都への大量の物資が集まる港町として賑わった。

(「大津市史」などより作成)

----- 主な水上路    ○ 主な港    ● 馬借の主な所在地  
 === 主な街道                      ———— その他の陸路  
 (「大津市史」などより作成)

〔問4〕 明治時代以降、近代化を図るなかで、新しい交通機関の導入や道路の整備などが進み、  
 (4) 人々の生活や産業は大きく変化した。とあるが、次のA～Dは、明治時代から現代にかけて人々の  
 生活に影響を与えた交通手段に関わる出来事について述べたものである。時期の古いものから順  
 に記号を並べてあるのは、下のア～エのうちのどれか。

- A ポーツマス条約の締結後、南満州の鉄道利権を獲得し、国際的な地位を高めるなかで、政府によって青森と<sup>はこだて</sup>函館を結ぶ連絡船の運航が開始された。
- B 国民の所得倍増をスローガンに掲げ、積極的な経済成長策を進めるなかで、東海道新幹線が開通し、東京と大阪間の所要時間が短縮された。
- C 普通選挙運動が活発になるなど民主主義の風潮が全国的に広まるなかで、新たに乗合自動車(バス)が登場し、女性車掌も採用された。
- D 官営工場を設立するなど殖産興業政策が進められるなかで、新橋と横浜間に鉄道が開通し、欧米の文化が貿易港からもたらされた。

ア D→A→C→B    イ D→C→A→B    ウ C→D→B→A    エ C→D→A→B

5 次の各問に答えよ。

〔問1〕 日本国憲法は、全ての国民に勤労の権利を保障している。勤労の権利は、日本国憲法で保障されている基本的人権のうち、社会権に分類される。社会権を規定している日本国憲法の条文は、次のア～エのうちではどれか。

ア すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

イ すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

ウ 何人も、公共の福祉に反しない限り、居住、移転及び職業選択の自由を有する。何人も、外国に移住し、又は国籍を離脱する自由を侵されない。

エ 公務員を選定し、及びこれを罷免することは、国民固有の権利である。すべて公務員は、全体の奉仕者であって、一部の奉仕者ではない。

〔問2〕 国は、働く人々を保護するために、様々な法律を定めている。次の文は、ある法律の内容の一部をまとめたものである。この法律が制定された目的について述べているのは、下のア～エのうちではどれか。

労働時間を原則として1日8時間、週40時間を超えてはならないと定めており、毎週少なくとも1回の休日を与えることや男女同一賃金の原則などを規定している。

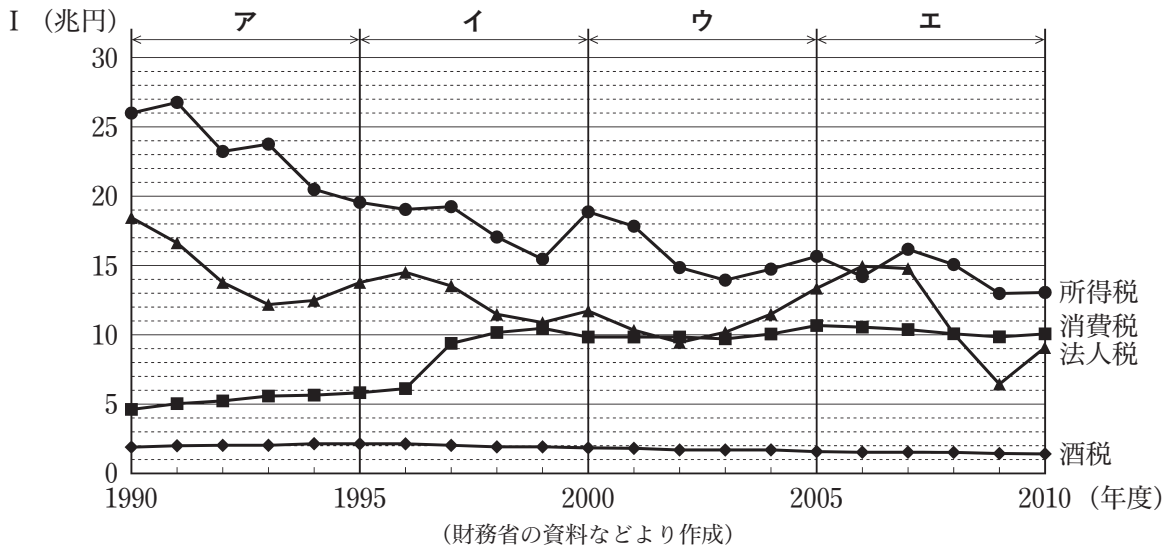
ア この法律は、労働者が使用者との交渉において対等の立場に立つことを促進することにより、労働者の地位を向上させることを目的としている。

イ この法律は、労働関係の公正な調整を図り、労働争議を予防し、又は解決して、産業の平和を維持し、経済の興隆に寄与することを目的としている。

ウ この法律は、労働者が人たるに値する生活を営むために必要な労働条件の最低基準を定め、労働者の保護を図ることを目的としている。

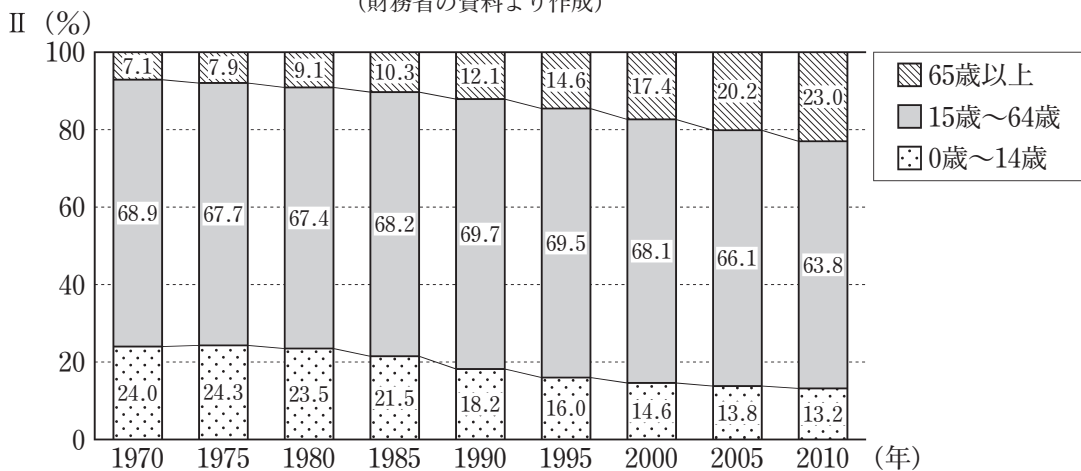
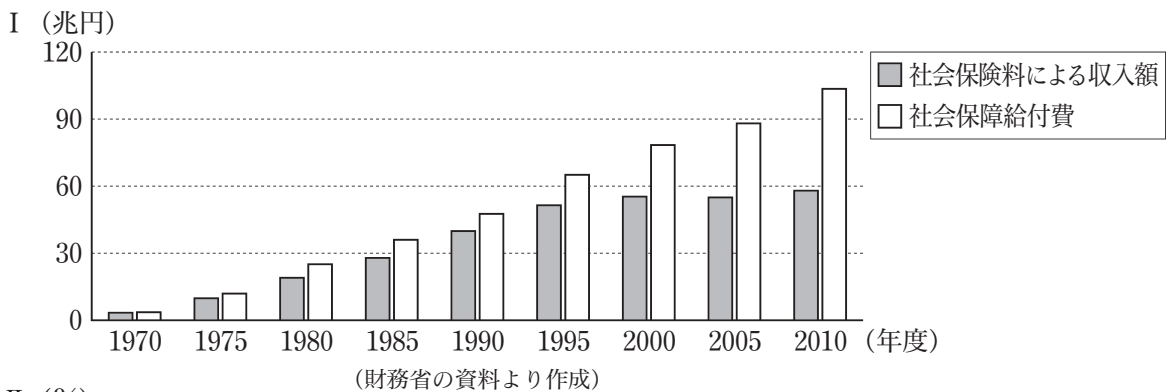
エ この法律は、法の下での平等を保障する日本国憲法の理念にのっとり、雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保を図ることを目的としている。

〔問3〕 国の財政は、原則として所得税や消費税などの税金で賄っている。次のページのⅠのグラフは、1990年度から2010年度までの我が国の所得税、法人税、消費税、酒税による収入額の推移を示したものである。次のページのⅡの文章は、Ⅰのグラフ中のア～エのいずれかの時期について述べたものである。Ⅱの文章で述べている時期に当てはまるのは、Ⅰのグラフ中のア～エのうちのどれか。



- II
- 所得税による収入額は、20兆円を下回って推移している。
  - 法人税による収入額は、増加から減少に転じ、その後増加している。
  - 消費税による収入額は、10兆円前後で推移し、税率は変化していない。
  - 酒税による収入額は、1.5兆円前後で推移している。

〔問4〕 社会の変化に伴って生じる様々な課題に対応するために、我が国の財政支出は変化してきている。次のIのグラフは、1970年度から2010年度までの、我が国の社会保険料による収入額と社会保障給付費の推移を示したものである。IIのグラフは、1970年から2010年までの、我が国の年齢別人口構成の割合の推移を示したものである。IとIIの資料を活用し、我が国の社会保障の課題について、社会保険料による収入額と社会保障給付費の差に着目して、簡単に述べよ。



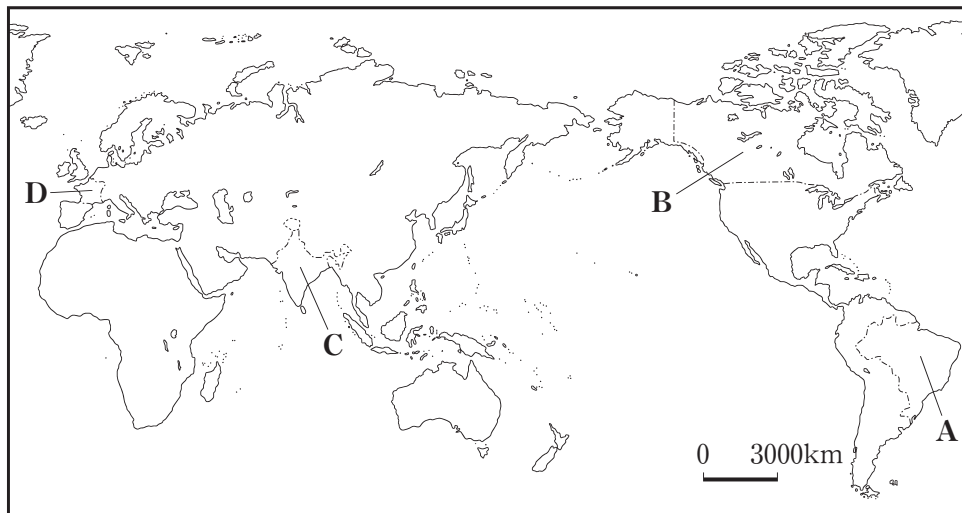
(注) 四捨五入をしているため、年齢別人口構成の割合を合計したものは、100%にならない場合がある。  
(総務省の資料より作成)

6 次の文章を読み、あとの各問に答えよ。

森林には、土砂災害の防止、水質の浄化や地球温暖化の緩和などの機能がある。古来、人々は、森林から多大な恩恵を受けるとともに、森林を伐採し、資源としても利用している。森林の伐採が、再生を大きく上回れば、自然環境に重大な影響を与えるため、国際社会において、これまで森林の維持、発展に関する取り組みが行われてきた。

こうしたなかで、世界の森林面積の変化については、地域的な偏りがみられ、一部の地域では増加しているものの、全体では減少している。この課題を解決し、持続可能な社会を形成するためには、国境を越えた経済的、技術的な協力などが大切である。

〔問1〕 森林を伐採し、資源としても利用している。とあるが、下のIの表のA～エは、略地図中のA～Dのいずれかの国の1985年と2011年における森林面積、国土面積に占める森林面積の割合、木材伐採高、木材伐採高のうち針葉樹伐採高を示したものである。IIの文章は、略地図中のA～Dのいずれかの国の森林に関する状況について述べたものである。IIの文章で述べている国に当てはまるのは、Iの表のA～エのうちのどれか。



	森林面積 (千ha)		国土面積に占める 森林面積の割合 (%)		木材伐採高 (千m <sup>3</sup> )		針葉樹伐採高 (千m <sup>3</sup> )	
	1985年	2011年	1985年	2011年	1985年	2011年	1985年	2011年
ア	565280	517328	66.4	60.8	225905	284019	37024	52731
イ	326129	310134	32.7	31.1	171305	145066	156679	119132
ウ	14603	16002	26.7	29.1	38999	55041	19481	22250
エ	67420	68579	20.5	20.9	245029	331969	9132	12165

(「世界国勢図会」2013/14年版などより作成)

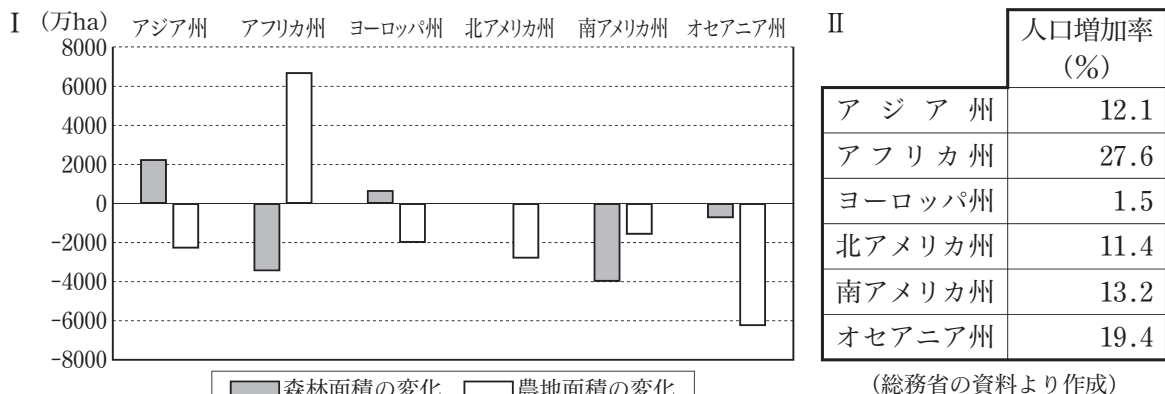
II ○州を代表する農業国として有名で、この国の森林は、国土の北部から西部のなだらかな平野では農地の中に分布し、東部国境や南東部に広がる山地には針葉樹が分布している。  
○18世紀後半には、市民を中心とした、自由で平等な社会を目指す動きがあった。さらに、19世紀には、森林に関する法律が作られ、森林の管理が強化されるようになった。その影響もあり、1985年と比べて2011年には、木材伐採高が増加しているにもかかわらず、森林面積及び国土面積に占める森林面積の割合は増加している。2011年における木材伐採高に占める針葉樹伐採高の割合は、1985年と比べて減少している。

〔問2〕<sup>(2)</sup> 国際社会において、これまで森林の維持、発展に関する取り組みが行われてきた。とあるが、次の略年表は、1945年から2011年までの国際的な森林の維持、発展に関する取り組みについてまとめたものである。略年表中のAの時期に当てはまるのは、下のア～エのうちではどれか。

西暦	国際的な森林の維持、発展に関する取り組み
1945	●国際連合食糧農業機関が設立され、目標の一つに農林水産業の生産性・持続性の向上が掲げられた。
1960	●国際連合食糧農業機関の支援を受けた世界林業会議がアメリカ合衆国で開催された。……………
1978	●マレーシアで生物多様性の保全等を定めた国家林業政策が打ち出された。……………
1985	●熱帯林の急激な減少が国際的な問題となり、「国際森林年」が設定された。
1992	●国連環境開発会議（地球サミット）において、森林に関する原則などが採択された。
2011	●「国際森林年」にあたり、国連において保全及び持続可能な森林の開発を強化することが決議された。

- ア ソビエト連邦では、市場経済を導入するなど経済の立て直しを進めるなかで、森林を一元的に管理する必要性が高まり、森林管理と林業を統合する試みが行われた。
- イ 日本では、身近な自然の減少や公害の発生など生活環境が悪化し、国民の自然環境の保全への意識が高まるなか、環境庁が設置された。
- ウ ヨーロッパでは、欧州連合が成立した年に、持続可能な森林管理において生物多様性の保護が不可欠であることが示された。
- エ 中華人民共和国では、この国が成立した年に、荒れた土地への植林、森林保護や国土の緑化を推進する必要性が示された。

〔問3〕<sup>(3)</sup> 世界の森林面積の変化については、地域的な偏りがみられ、一部の地域では増加しているものの、全体では減少している。とあるが、次のIのグラフは、世界各州の2000年と2010年を比較した森林面積及び農地面積の変化を示したものである。IIの表は、世界各州の2000年に対する2010年の人口増加率を示したものである。IIIの文章は、世界のいずれかの州の歴史的背景と自然環境などについてまとめたものである。IとIIの資料を活用し、IIIの文章で述べている州における森林面積及び農地面積の変化の様子とその理由について、簡単に述べよ。



- III ○20世紀初めまでに、一部の地域を除き植民地として分割されたが、20世紀半ば以降に多くの国々が独立した。
- 北部には世界最大の砂漠が広がり、北東部には世界最長の河川が流れている。
- 金、銅、ダイヤモンドなどの鉱産資源が豊富に分布している。